



## 2022年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年4月14日

上場会社名 ポエック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9264 URL <http://www.puequ.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松村 俊宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 吉本 貞幸 TEL 084 (922) 8551  
 四半期報告書提出予定日 2022年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年8月期第2四半期の連結業績（2021年9月1日～2022年2月28日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期第2四半期	2,906	△10.4	115	△12.3	127	△5.1	94	5.3
2021年8月期第2四半期	3,243	4.9	131	52.7	134	39.9	89	2.6

（注）包括利益 2022年8月期第2四半期 90百万円（△8.1％） 2021年8月期第2四半期 98百万円（12.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年8月期第2四半期	40.13	—
2021年8月期第2四半期	38.19	38.16

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年8月期第2四半期	8,379	2,798	33.4
2021年8月期	8,535	2,797	32.8

（参考）自己資本 2022年8月期第2四半期 2,798百万円 2021年8月期 2,797百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年8月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2022年8月期	—	0.00	—	—	—
2022年8月期（予想）	—	—	—	38.00	38.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年8月期の連結業績予想（2021年9月1日～2022年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,789	8.5	343	24.3	344	16.3	236	22.2	100.39

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年8月期2Q	2,353,500株	2021年8月期	2,353,500株
② 期末自己株式数	2022年8月期2Q	1,170株	2021年8月期	1,170株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年8月期2Q	2,352,330株	2021年8月期2Q	2,347,565株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外におけるワクチン接種が進む中においても、新型コロナウイルス感染症の影響は根強く続き、収束の兆しも見られておりません。また、世界的な半導体不足のリスクも抱え、先行きは依然として不透明な状況です。

このような経営環境の下、環境関連機器の拡販を目的に休眠客の掘り起こしを推進するとともに、市況が堅調に推移している船舶、プラント機器市場においては、関連機器の製造受託営業に注力してきました。また、2021年9月には海水冷却加温ユニット及びチタン熱交換器を製造販売する株式会社マリンリバーの全株式を取得し連結子会社化することにより事業規模を拡大、収益基盤を底上げしてきました。

全体としては、半導体不足の影響により、取扱う機器の仕入が遅延し納期が延びるなど受注を十分消化できない状態が続き、当社グループの経営成績に影響しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,906百万円（前年同期比10.4%減）、営業利益115百万円（前年同期比12.3%減）、経常利益127百万円（前年同期比5.1%減）となり、負ののれん発生益20百万円を特別利益に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は94百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (環境・エネルギー事業)

半導体不足の影響により商品仕入が計画通り進まず、納期遅延により受注を十分消化できない状態が続きました。また、景観配慮型防潮壁「シーウォール」の引合いが増加傾向で推移しているものの、納期が1年を超える足の長い案件が多くあり、当第2四半期連結累計期間での実績は限定的なものとなりました。

以上の結果、環境・エネルギー事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は1,574百万円（前年同期比16.0%減）、セグメント利益45百万円（前年同期比46.3%減）となりました。

#### (動力・重機等事業)

半導体不足の影響を受けた案件について受注が伸び悩んだものの、これらの影響にも増して船舶、プラント関連市場及び工作機械関連市場での需要が堅調に推移しました。さらに、購買コストの見直し、利益率の高い案件獲得など継続的な原価低減、利益率上昇策が有効に機能してきました。こうした施策を講じてきた結果、売上高は前年同期並みであった一方、利益率は上昇し、経営成績は堅調に推移しました。

以上の結果、動力・重機等事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は1,131百万円（前年同期比0.7%増）、セグメント利益107百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

#### (防災・安全事業)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、病院や介護施設に対するスプリンクラー設備の設置に係る補助金額が減少し需要動向が低調に推移している上、病院等施設への営業も制約を受けるケースが多くあるなどの影響を受け、その結果、経営成績は低調に推移しました。

以上の結果、防災・安全事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は199百万円（前年同期比18.3%減）、セグメント利益10百万円（前年同期比34.1%減）となりました。

### (2) 財政状態の分析

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は8,379百万円（前連結会計年度末は8,535百万円）となり、155百万円減少しました。

流動資産は3,921百万円（前連結会計年度末は4,266百万円）となり、344百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が317百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は4,458百万円（前連結会計年度末は4,269百万円）となり、189百万円増加しました。これは主に、土地が65百万円、主に関係会社株式等によるその他が135百万円増加したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は5,581百万円（前連結会計年度末は5,737百万円）となり、156百万円減少しました。

流動負債は3,050百万円（前連結会計年度末は3,109百万円）となり、58百万円減少しました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が増加した一方、短期借入金が増加したものの、主に未払費用等によるその他が68百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は2,530百万円（前連結会計年度末は2,628百万円）となり、98百万円減少しました。これは主に、長期借入金が102百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,798百万円（前連結会計年度末は2,797百万円）となり、1百万円増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金が3百万円減少した一方、利益剰余金が5百万円増加したことによるものであります。

（3）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,280百万円（前連結会計年度末に比べ259百万円減少）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は168百万円（前年同期は127百万円の収入）となりました。これは主に前渡金の増減額により36百万円、法人税等の支払額により76百万円の支出があった一方、税金等調整前四半期純利益により147百万円、売上債権の減少により119百万円の収入等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は174百万円（前年同期は196百万円の支出）となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入252百万円等があった一方、投資有価証券の取得による支出228百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社取得による支出105百万円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は253百万円（前年同期は57百万円の収入）となりました。これは主に長期借入れによる収入728百万円があった一方、長期借入金の返済による支出により836百万円、配当金の支払いにより88百万円の支出等があったことによるものであります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年10月14日の「2021年8月期 決算短信」で公表いたしました2022年8月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,109,552	1,791,946
受取手形及び売掛金	1,460,164	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	1,398,004
電子記録債権	182,747	117,805
商品及び製品	44,823	49,518
仕掛品	279,693	282,288
原材料及び貯蔵品	34,707	57,708
その他	168,006	237,275
貸倒引当金	△13,670	△13,166
流動資産合計	4,266,026	3,921,379
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	795,607	788,822
土地	2,028,102	2,093,102
その他(純額)	417,686	438,511
有形固定資産合計	3,241,396	3,320,436
無形固定資産		
のれん	6,736	6,302
その他	5,716	5,601
無形固定資産合計	12,453	11,903
投資その他の資産		
投資有価証券	455,402	431,064
その他	569,537	704,541
貸倒引当金	△9,756	△9,756
投資その他の資産合計	1,015,183	1,125,849
固定資産合計	4,269,033	4,458,189
資産合計	8,535,059	8,379,569
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	349,836	369,376
短期借入金	1,570,000	1,520,000
1年内返済予定の長期借入金	842,346	896,303
未払法人税等	75,172	60,644
賞与引当金	26,949	27,539
その他	244,915	176,838
流動負債合計	3,109,219	3,050,701
固定負債		
長期借入金	2,345,329	2,243,194
役員退職慰労引当金	20,395	21,040
退職給付に係る負債	144,485	150,493
その他	118,530	115,810
固定負債合計	2,628,739	2,530,538
負債合計	5,737,959	5,581,239

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,062,420	1,062,420
資本剰余金	920,120	920,120
利益剰余金	814,679	819,686
自己株式	△231	△231
株主資本合計	2,796,988	2,801,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111	△3,666
その他の包括利益累計額合計	111	△3,666
純資産合計	2,797,100	2,798,329
負債純資産合計	8,535,059	8,379,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)
売上高	3,243,657	2,906,339
売上原価	2,616,054	2,246,724
売上総利益	627,603	659,614
販売費及び一般管理費	496,125	544,264
営業利益	131,478	115,350
営業外収益		
受取利息	78	284
受取配当金	146	481
投資有価証券売却益	299	6,699
保険解約返戻金	789	48
固定資産賃貸料	7,774	7,872
補助金収入	4,937	2,838
その他	15,559	12,692
営業外収益合計	29,584	30,917
営業外費用		
支払利息	13,966	12,918
投資有価証券売却損	—	725
投資有価証券評価損	6,203	616
株式交付費	746	—
その他	5,465	4,227
営業外費用合計	26,381	18,487
経常利益	134,681	127,780
特別利益		
固定資産売却益	2,068	103
負ののれん発生益	—	20,001
特別利益合計	2,068	20,104
特別損失		
固定資産除却損	261	62
特別損失合計	261	62
税金等調整前四半期純利益	136,487	147,822
法人税等	46,838	53,426
四半期純利益	89,648	94,395
親会社株主に帰属する四半期純利益	89,648	94,395

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)
四半期純利益	89,648	94,395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,912	△3,778
その他の包括利益合計	8,912	△3,778
四半期包括利益	98,560	90,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	98,560	90,617

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	136,487	147,822
減価償却費	76,322	74,354
のれん償却額	434	434
負ののれん発生益	—	△20,001
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	85	△504
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	645	645
賞与引当金の増減額 (△は減少)	938	△46
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△396	26
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,100	6,008
投資有価証券売却損益 (△は益)	△299	△5,974
投資有価証券評価損益 (△は益)	6,203	616
保険解約返戻金	△789	△48
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,068	△103
固定資産除却損	261	62
受取利息及び受取配当金	△224	△766
支払利息	13,966	12,918
株式交付費	746	—
為替差損益 (△は益)	508	133
売上債権の増減額 (△は増加)	△218,716	119,586
棚卸資産の増減額 (△は増加)	105,374	△10,359
仕入債務の増減額 (△は減少)	81,719	18,228
未払金の増減額 (△は減少)	7,130	△7,216
前渡金の増減額 (△は増加)	137,075	△36,034
その他	△141,993	△41,451
小計	204,511	258,330
利息及び配当金の受取額	221	763
利息の支払額	△10,267	△13,717
法人税等の支払額	△67,012	△76,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,453	168,674
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△263,750	△77,550
定期預金の払戻による収入	226,949	135,720
投資有価証券の取得による支出	△50,120	△228,616
投資有価証券の払戻による収入	3,308	207
投資有価証券の売却による収入	1,111	252,613
有形固定資産の取得による支出	△112,480	△65,112
有形固定資産の売却による収入	2,200	1,227
貸付けによる支出	△50,000	—
貸付金の回収による収入	50,000	—
子会社の設立による支出	—	△100,000
保険積立金の積立による支出	△2,483	△2,038
保険解約による収入	1,346	15,714
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△105,715
その他	△2,429	△1,342
投資活動によるキャッシュ・フロー	△196,347	△174,892

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	△50,000
長期借入れによる収入	868,000	728,000
長期借入金の返済による支出	△702,300	△836,178
株式の発行による収入	96,475	—
社債の償還による支出	△10,000	—
リース債務の返済による支出	△5,582	△6,685
配当金の支払額	△88,528	△88,721
自己株式の取得による支出	△93	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	57,972	△253,584
現金及び現金同等物に係る換算差額	△508	△133
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,430	△259,936
現金及び現金同等物の期首残高	1,731,415	1,540,342
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,719,984	1,280,406

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2020年9月1日 至 2021年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー	動力・重機等	防災・安全	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,875,063	1,124,092	244,502	3,243,657	—	3,243,657
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,084	—	—	1,084	△1,084	—
計	1,876,147	1,124,092	244,502	3,244,741	△1,084	3,243,657
セグメント利益	85,079	86,081	16,459	187,620	△56,141	131,478

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	金額
セグメント間取引消去	17
全社費用※	△56,158
合計	△56,141

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2021年9月1日 至 2022年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー	動力・重機等	防災・安全	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,574,642	1,131,909	199,787	2,906,339	—	2,906,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,131	—	—	5,131	△5,131	—
計	1,579,773	1,131,909	199,787	2,911,470	△5,131	2,906,339
セグメント利益	45,690	107,670	10,848	164,209	△48,859	115,350

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	金額
セグメント間取引消去	△333
全社費用※	△48,526
合計	△48,859

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

環境・エネルギー事業において、当第2四半期連結累計期間より株式会社マリンリバーの株式取得による連結子会社化に伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は20,001千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。